

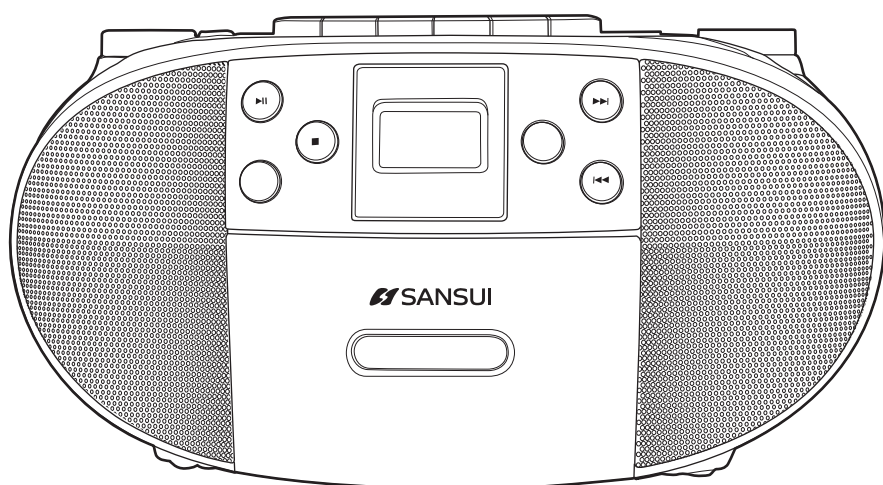
CDラジオカセットレコーダー MS-CD3

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

も く じ

安全上のご注意	P2 ~ P3
ご使用になる前に	P3 ~ P4
各部の名称とはたらき	P5
正しい使いかた	P6 ~ P15
CDを聴く	P8 ~ P10
ラジオを聴く	P11
外部入力を聴く	P12
カセットテープを聴く	P13
録音のしかた	P14 ~ P15
お手入れのしかた	P16
修理・サービスを依頼する前に	P17 ~ P18
主な仕様	P19
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⓪は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⓪の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本製品にダストスプレー(エアダスター)を使用しない。 製品内部にガスが溜まった場合、引火し爆発する恐れがあります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	海外で使用しない。 本製品は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、ロッドアンテナや電源プラグに触れない。 感電の危険があります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	乾電池を充電しない。 乾電池の破裂・液もれがおこり、火災やけが・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		
	電源コードを乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻き付いたりして事故の原因になることがあります。		取りはずした乾電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。乾電池を口に入れたり、ショートさせたりと事故の原因になります。		

注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。 窓をしめ切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。 不安定な場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。 指定以外の乾電池を使用しない。違う種類の乾電池、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。 乾電池の極性に注意する。 乾電池をセットする際、乾電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、表示どおりに正しく入れてください。乾電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。 持ち運びするときは、ロッドアンテナをたたむ。 けがや故障の原因となります。 音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると聴力に悪い影響を与えます。
--	--	---	---

ご使用になる前に

CD について

結露について

寒いところから急に暖かい所へ移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起こります。
この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このような時は、ディスクを取り出して、一時間程放置してください。
結露が取り除かれて正常に動作するようにになります。

ディスク使用上の注意



ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



ディスクに上記のマークが入ったものをご使用ください。

本機はCD-DAフォーマットで記録されたCD-RおよびCD-RWディスクを再生することができます。コピーコントロールCDやDual DiscなどCDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。



ハート型や八角形型などの特殊形状のディスクは使用しない。
機器の故障の原因となります。

ディスクの取り扱いについて

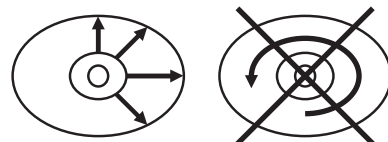
再生面を触れないように持つ。



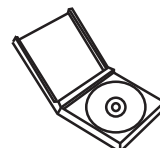
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らない。



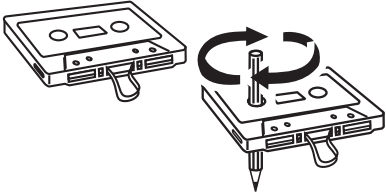
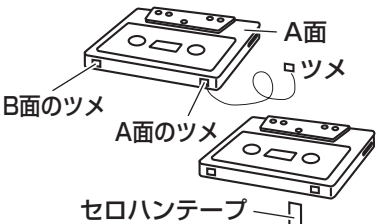
ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



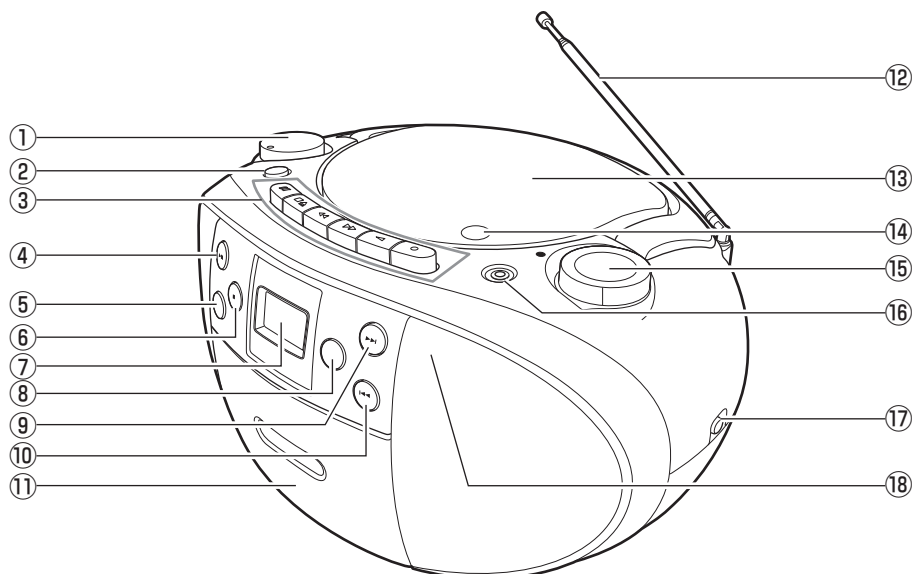
長時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管する。



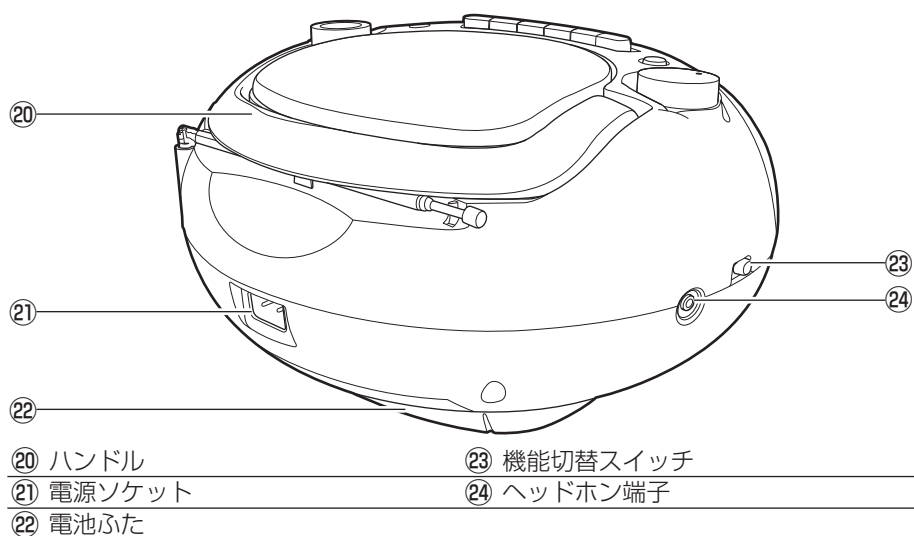
ご使用になる前に（つづき）

カセットテープについて	乾電池について
カセットテープの取り扱いについて テープのたるみをなくして使用する。 テープのたるみは、テープの巻きつきや、切断の原因となります。 テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいるときは図のように鉛筆などで直してからご使用ください。  テープをセットしたままにしない。 長時間録音再生しない場合は、テープが傷むのを避けるため、セットしたままにしないでください。テープは途中で取り出さず、必ず巻き戻し、ケースに入れて立てて保管してください。	乾電池を扱うときには ・指定以外の乾電池は使用しない。 ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 ・極性表示を間違えないで挿入する。 ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。 ・液漏れがおきたら使用しない。 乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。 万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。 ・長時間使用しないときや、常にコンセントに接続して使用している場合は、乾電池をはずしておく。 ・使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。
免責事項について	
大切な録音を消さないために 録音禁止にするときには、カセットの後ろ側にある“ツメ”を折っておく。 保存しておきたいようなテープの場合には、カセットの後ろ側にある“ツメ”を折っておくと録音禁止になり、間違えて大切な録音テープに上書きせずに済みます。また、再び録音したい時は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。  ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合があります。	お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。 製品の故障・誤動作または不都合によるテープやディスク等への記録された内容の損害及び録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
リーダーテープについて	カセットテープの両端のリーダーテープ部分は録音できません。 すぐに録音を開始させたい場合には、録音の前にこの部分を送っておいてください。
テープの種類について	本製品で利用できるテープはノーマルテープのみです。 ノーマルテープ以外（メタルテープやハイポジションテープなど）は十分に性能が発揮できません。さらに、重ね録りで前の録音が消えずに残ってしまうなど、問題も発生するため、使用しないでください。 長時間テープを使わない。 90分以上のテープは変形しやすく、また伸びやすいため、なるべくご使用をお避けください。
NRについて（再生／録音）	本製品にはNR（ノイズ・リダクション：雑音除去）機能はありません。 他のカセットデッキでNRを使用して録音されたテープは、本製品で聴くと音質が異常に聴こえます。基本的には、同じNRが搭載されたカセットデッキで再生してください。
著作権について	あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

各部の名称とはたらき



- | | |
|-----------------------|--------------|
| ① 音量つまみ | ⑪ カセットホルダー |
| ② はっきりくっきりボタン | ⑫ ロッドアンテナ |
| ③ カセット操作ボタン | ⑬ CD ふた |
| ④ CD 再生／一時停止ボタン | ⑭ CD ふた開閉ボタン |
| ⑤ CD プログラムボタン | ⑮ 選局つまみ |
| ⑥ CD 停止ボタン | ⑯ 外部入力端子 |
| ⑦ CD ディスプレイ | ⑰ バンド切替スイッチ |
| ⑧ CD 繰り返しボタン | ⑱ 内蔵マイク |
| ⑨ CD スキップ／サーチボタン(正方向) | |
| ⑩ CD スキップ／サーチボタン(逆方向) | |



梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	取扱説明書（保証書含む）	1 冊
電源コード	1 本		

正しい使いかた

電源の準備

家庭用電源と乾電池で使用することができます。

- 本体に乾電池が入っている場合、電源プラグを家庭用電源に接続すると、家庭用電源に切り替わります。乾電池を使用したい場合は、家庭用電源から電源プラグをはずしてください。

家庭用電源で使用する場合

1. 機能切替スイッチを、一番右の「テープ／切」の位置にする
2. 電源コードを、本体背面にある電源ソケットに差し込む
3. 電源プラグを、コンセントに差し込む



乾電池で使用する場合

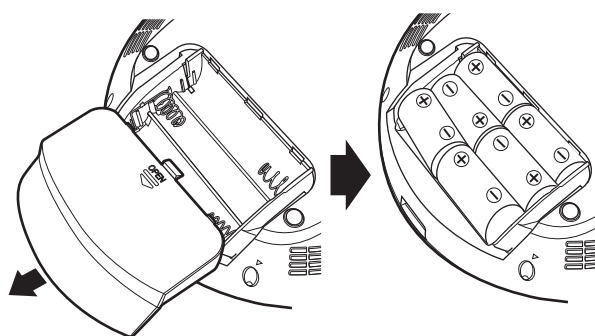
1. 機能切替スイッチを、一番右の「テープ／切」の位置にする
2. 本体底面の電池ふたをはずし、単2形乾電池6本を右の図のように入れる



警告

- +と-の向きに注意して入れる
火災・故障の原因になります。
- 長時間使用しないときや、常にコンセントに接続して使用している場合は、乾電池をはずしておく。

※ 乾電池については P.4 も一読ください。



ヘッドホンを使用する

1. 音量つまみを左に回し、音量を最小にする
2. 本体左側にあるヘッドホン端子 (🔊) にヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子に接続をすると、スピーカーから音が出なくなります。接続したものを取りはずすと音が出るようになります。

※ 本製品のヘッドホン端子はステレオミニ端子です。



3. 音量つまみを回して、適切な音量に調節する



注意

- ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。
聴力に影響をおよぼす場合があります。
- ヘッドホンの連続使用でかゆみやかぶれなどの症状が発生したら、ヘッドホンの使用を中止する。
使用を中止し、専門医にご相談ください。

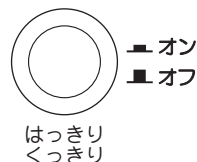
「はっきりくっきり」機能を使用する

1. 本体上部の「はっきりくっきり」ボタンを押す

高音が強調された音に変化します。

2. 「はっきりくっきり」ボタンをもう一度押す

通常の音に戻ります。



電源を切る

使用を終えたときに、乾電池や家庭用電源がムダに消費しないように、以下の操作をします。

1. 機能切替スイッチを、一番右の「テープ／切」の位置にする

※カセット操作ボタンはすべて解除してください。
ボタンが押されたままの状態ですと電力を消費することがあります。



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

CD を聴く

通常の操作

1. 機能切替スイッチを、一番左の「CD」の位置にする

CD ディスプレイが「-」を表示します。

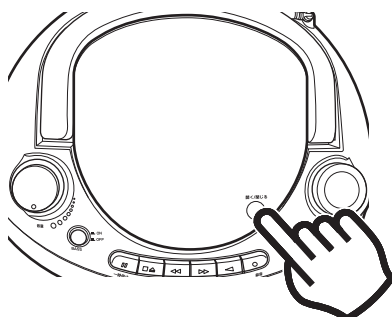
ラジオ
CD 外部入力
テープ/切



2. CDふた開閉ボタンを押してCDふたを開き、CDをセットする

ラベル面を上にしてセットします。

※CDの取り扱いについてP.3も一読ください。



CD ふた開閉ボタン

3. CDふた開閉ボタンを押してCDふたを閉める

- ・カチッと音がするまで確実に閉めてください。
- ・CD ディスプレイが「-」を点滅表示し、数秒後にセットしたCDの総曲数を表示します。

4. [▶||] ボタンを押す

- ・曲番号 01 から演奏が開始（再生）されます。
- ・CD ディスプレイには再生中の曲番号と「▶」が表示されます。
- ・最後の曲まで再生がおわると、自動的にCD停止状態になります。

曲を進める

[▶▶] ボタンを押す

- ・再生中に [▶▶] ボタンを1回押すごとに1曲進みます。
- ・再生中に [▶▶] ボタンを押し続けると聴いている曲が早送りされます。

曲を戻す

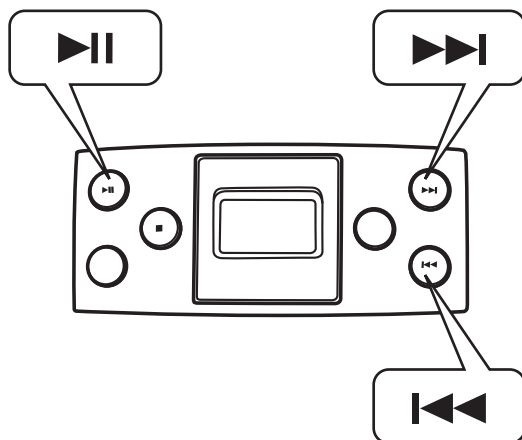
[◀◀] ボタンを押す

- ・再生中に [◀◀] ボタンを押すと曲の最初に戻ります。
- ・再生中に [◀◀] ボタンを1回押すごとに1曲戻ります。
- ・再生中に [◀◀] ボタンを押し続けると聴いている曲が早戻しされます。

一時停止する

[▶||] ボタンを押す

- ・再生中に [▶||] ボタンを押すと演奏が一時停止します。
- ・CD ディスプレイには「▶」が点滅表示されます。
- ・もう一度押すと、再生が再開されます。



5. [■]ボタンを押す

- ・演奏が停止されます。
- ・CD ディスプレイは総曲数を表示します。

プログラム再生

最大 20 曲をお好みの曲順で記憶させ、再生させることができます。

1. CD停止状態のときに[プログラム]ボタンを押す

CD ディスプレイに「PROG.」が点滅し、「01」が約 1 秒間表示されたあと「00」が点滅表示されます。

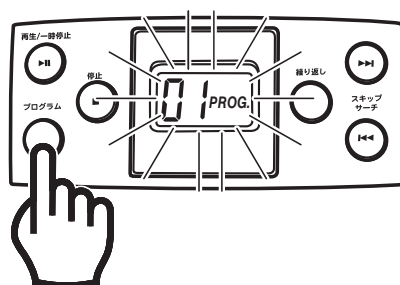
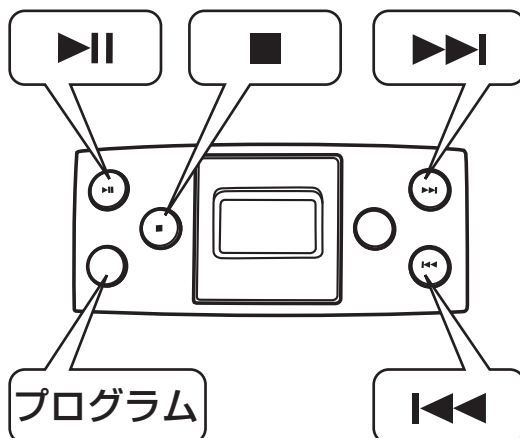
2. [⏮]ボタンと[⏭]ボタンを押して選曲し、[プログラム]ボタンを押す

- ・[プログラム] ボタンを押すと記憶され、「02」が約 1 秒間表示されたあと「00」が点滅表示されます。
- ・手順 2 を繰り返し、お好みの曲順で記憶させてください。
- ・記憶できるのは最大 20 曲で、20 曲目を記憶すると、「—」が点滅表示され、プログラムを追加できなくなります。

3. [▶||]ボタンを押す

- ・プログラム再生が始まります。
- ・プログラム再生が終了すると、プログラム再生モードが解除され CD 停止状態になります。再度プログラムを再生するには、CD 停止状態で [プログラム] ボタンを押したあと [▶||] ボタンを押してください。

※ CD 停止状態で [プログラム] ボタンを繰り返し押すとプログラム内容が順に表示されます。



プログラム内容を消去する

記憶されたプログラム内容を消去することができます。

1. CD停止状態のときに[プログラム]ボタンを押す

2. [■]ボタンを押す

※ CD ふたを開けるとプログラム内容が消去されます

正しい使いかた（つづき）

CD を聴く

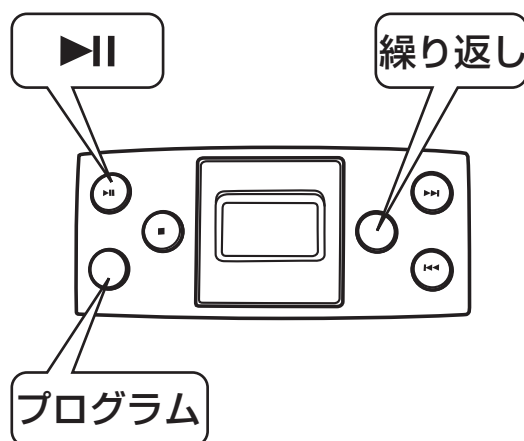
繰り返し聴く

1 曲、ディスク全曲、またはプログラムを繰り返し再生したり、ランダム再生することができます。

1 曲を繰り返し聴く

1. 聴きたい曲を選び、[▶||] ボタンを押す
2. [繰り返し] ボタンを 1 回押して [REPEAT] を点灯させる

現在再生している曲が繰り返し再生されます。



CD の全曲を繰り返し聴く

1. [繰り返し] ボタンを 2 回押して [REPEAT] と [ALL] を点灯させる
2. [▶||] ボタンを押す

現在再生している CD 全曲が繰り返し再生されます。

「繰り返し」ボタンを押すたびに	CD ディスプレイの表示
1 曲繰り返し再生	REPEAT
全曲繰り返し再生	REPEAT ALL
ランダム再生	RANDOM
通常再生	(消灯)

プログラムを繰り返し聴く

1. [プログラム] ボタンを押して、曲を記憶させる
2. [繰り返し] ボタンを 2 回押して [REPEAT] と [ALL] を点灯させる

CD ディスプレイに「PROG」が点滅し、前ページ「プログラム再生」にしたがって、曲を記憶させます。

3. [▶||] ボタンを押す

現在記憶しているプログラムの全曲が繰り返し再生されます。

曲をランダムに聴く

1. [繰り返し] ボタンを 3 回押して [RANDOM] を点灯させる
2. [▶||] ボタンを押す

現在再生している CD がランダム再生されます。

繰り返しをやめる

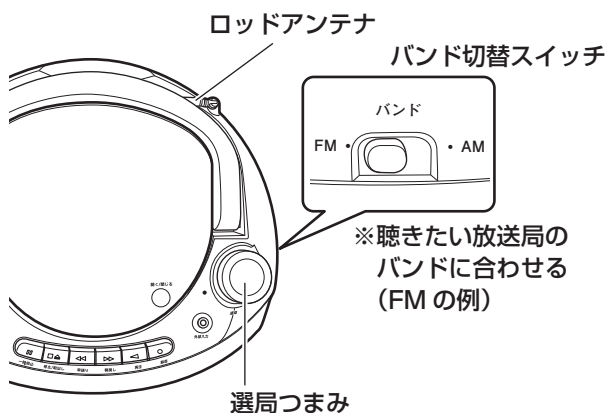
1. [繰り返し] ボタンを数回押して [REPEAT] [ALL] [RANDOM] を消灯させる

※ 繰り返し再生中に [■] ボタンを押すと、繰り返し再生の設定は解除されます。

ラジオを聴く

1. 本体左側の機能切替スイッチを、「ラジオ」の位置にする
2. 本体右側のバンド切替スイッチで聴きたいラジオのバンドを選ぶ
3. 選局つまみで聴きたいラジオ局の周波数に合わせる

- 周波数表示を目安に選局つまみをまわし、ラジオ局の周波数に合わせます。
- 受信状態を向上させるには、電波をできるだけさえぎらないように、より窓際へ設置します。
- FM の受信状態を向上させるには、ロッドアンテナを伸ばしたり、角度を変えたりしてください。
- AM の受信状態を向上させるには、AM のアンテナが本体内部にあるため、本体の向きや高さを変えてください。



注意

テレビの近くで AM を受信すると雑音が入ることがあります。
テレビなどから離して使用してください。

4. ラジオを聴き終えたら、機能切替スイッチを一番右の「テープ／切」の位置にして電源を切る

- ロッドアンテナを伸ばした場合は、安全のためたたんでください。



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。



注意

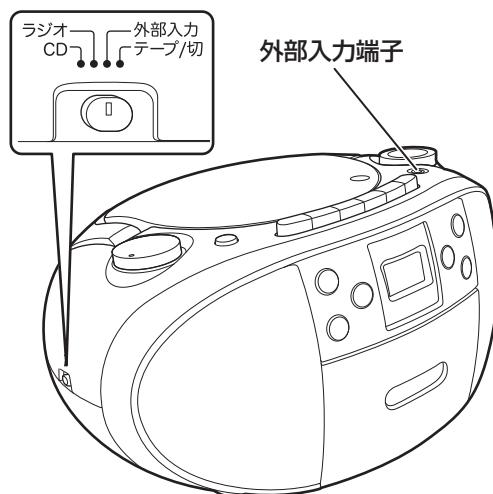
ラジオを聴かないときロッドアンテナはたたんでおく。
けが・故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーや携帯電話の音楽機能などの音声機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音を出すことができます。

1. 機能切替スイッチを、「外部入力」の位置にする
2. 音量つまみで音量を最小にする
3. 本体上部右側の外部入力端子に、音声機器を接続する
 - ・接続コードは別売です。
 - ・本製品の外部入力端子はステレオミニプラグです。
4. 音声機器を再生状態にする
5. 音量つまみで音量を調整する
6. 外部入力を聴き終えたら、機能切替スイッチを、一番右の「テープ／切」の位置にして電源を切る



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

※ 外部機器側のイヤホン、ヘッドホン端子を利用して本機の外部入力端子と接続した場合は、外部機器側の音量も調整してください。外部機器側の音量が0の場合は、本機から音は出ません。

カセットテープを聴く

カセットテープを操作するには、本体上部のカセット操作ボタンを使います。

※カセットテープの取り扱いについて P.4 も一読ください。

1. 機能切替スイッチを「テープ／切」の位置にする
2. [■ ▲] 停止／取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープをセットする
 - ・カセットテープはテープが見えるほうを上、に、聴きたい面を手前にセットします。
3. カセットホルダーを閉める
 - ・カチッと音がするまで確実に閉めてください。
4. カセット操作ボタンでカセットテープを操作する

[◀] 再生

- ・再生します。

[||] 一時停止

- ・再生中・録音中に一時停止します。
もう一度押すと、再開されます。

[◀◀] 早送り

- ・早送りする（再生位置を進める）ことができます。

[▶▶] 巻戻し

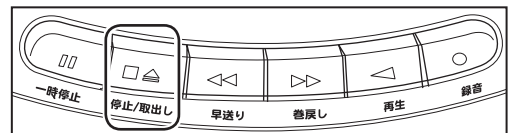
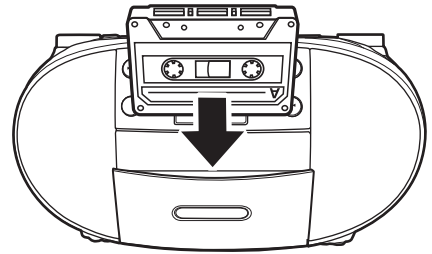
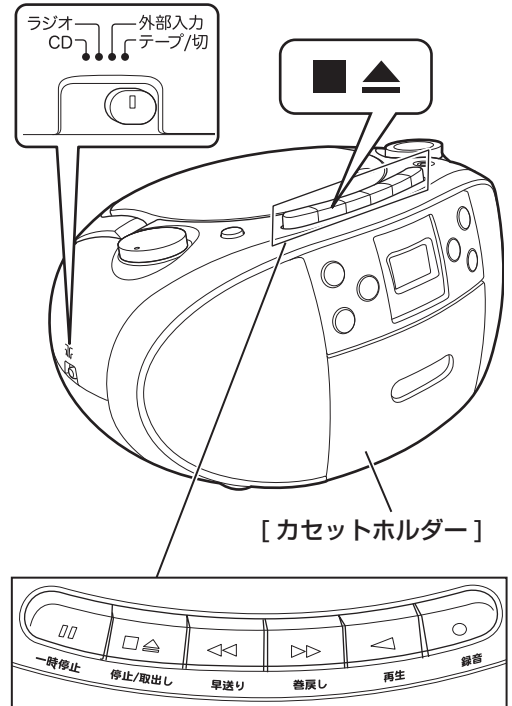
- ・巻戻しする（再生位置を戻す）ことができます。

[■ ▲] 停止／取出し

- ・カセットテープの動きを止めることができます。
- ・早送り・巻戻しを解除することができます。
- ・カセットテープが停止状態の時に押すと、カセットホルダーが開きます。

5. カセットテープを聴き終えたら、[■ ▲] 停止／取出しボタンを押して確実に終了させる

- ・ボタンはすべて解除してください。ボタンが押されたままの状態ですと（一時停止ボタン以外は）、電力を消費することがあります。



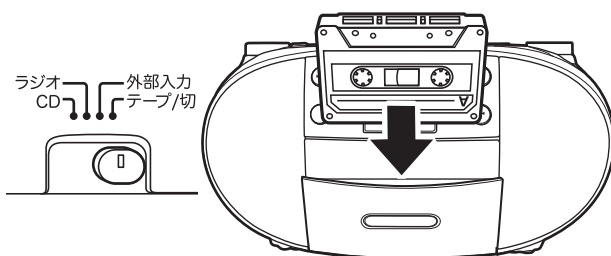
正しい使いかた（つづき）

録音のしかた

本製品では、ラジオ・CD・外部入力 of 音声をカセットテープに録音することができます。

※カセットテープの取り扱いについて P.4 も一読ください。

※本製品にはマイクが内蔵されています。
機能切替スイッチを「テープ／切」の位置にして [●] 録音ボタンを押すと、生録音ができます。



CD を録音する

1. 機能切替スイッチを「テープ／切」の位置にする
2. [■ ▲] 停止／取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープをセットする

・録音開始するところで停止しておきます。

3. 機能切替スイッチを「CD」の位置にする

4. CD ふた開閉ボタンを押してCD ふたを開き、CD をセットする

5. 録音したいトラック(曲) を選曲し、[▶||] ボタンを押して一時停止状態にする。

- ・好みの順番で録音したい場合はプログラム再生 (→ P.9) することもできます。
- ・CD の最初から録音したい場合は、CD 停止状態にしておきます。

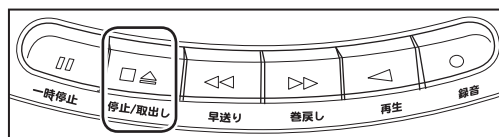
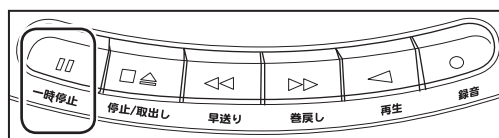
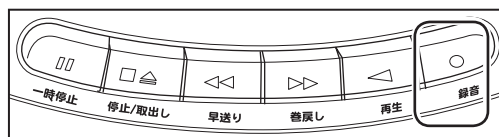
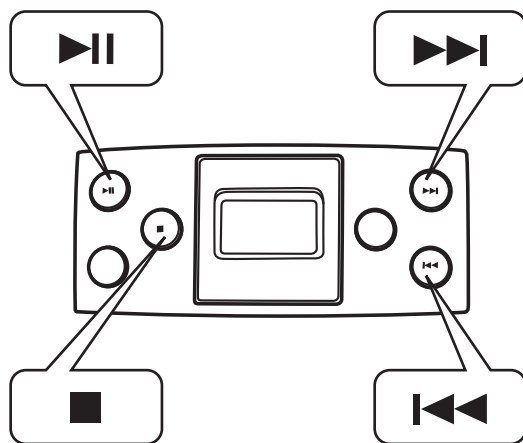
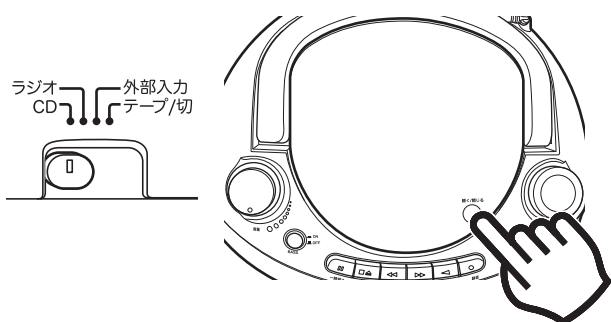
6. [●] 録音ボタンを押す

- ・[●] 録音ボタンと一緒に [◀] 再生ボタンも押されます。
- ・CD の停止・一時停止状態が再生になり、CD の録音が自動的に開始されます。

7. 録音中、一時停止するには [||] 一時停止ボタンを押す

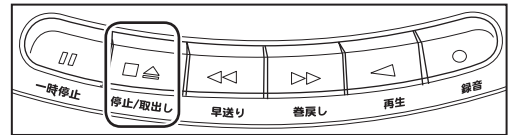
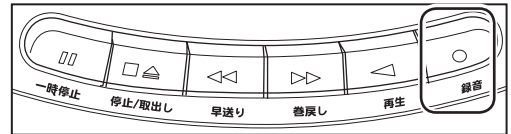
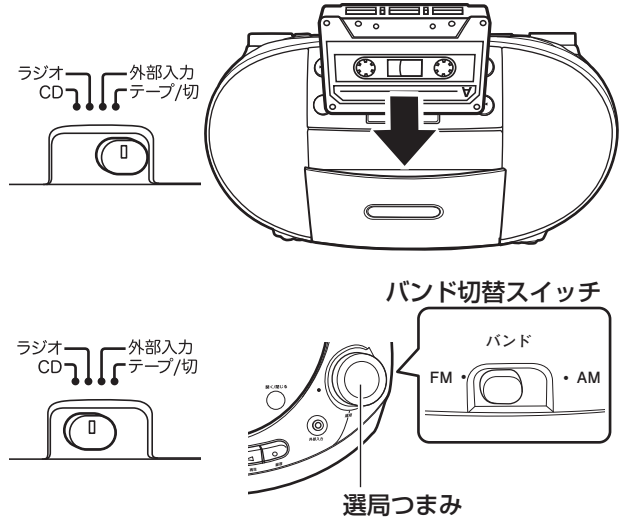
- ・もう一度押すと、録音が再開されます。
- ・一時停止ボタンでは CD は影響を受けません。

8. 録音が終了したら、[■ ▲] 停止／取出しボタンを押す



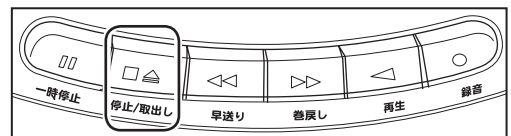
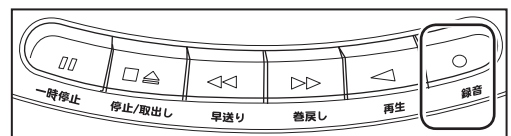
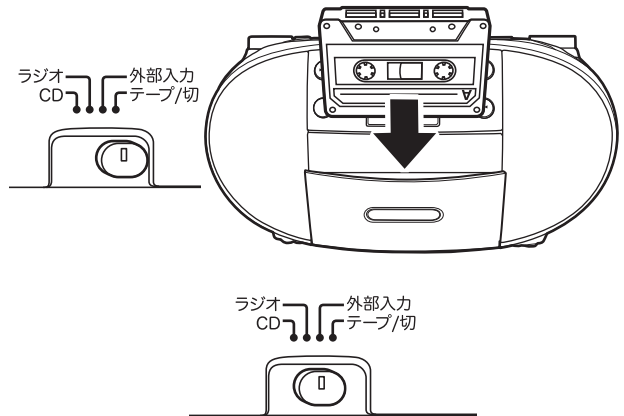
ラジオを録音する

1. 機能切替スイッチを「テープ／切」の位置にする
2. [■ ▲]停止／取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープをセットする
・録音開始するところで停止しておきます。
3. 機能切替スイッチを「ラジオ」の位置にする
4. バンド切替スイッチと選局つまみで録音したいラジオ局の周波数に合わせる
5. [●]録音ボタンを押す
・[●]録音ボタンと一緒に[◀]再生ボタンも押されます。
6. 録音中、一時停止するには[||]一時停止ボタンを押す
・もう一度押すと、録音が再開されます。
7. 録音が終了したら、[■ ▲]停止／取出しボタンを押す



外部入力を録音する

1. 機能切替スイッチを「テープ／切」の位置にする
2. [■ ▲]停止／取出しボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープをセットする
・録音開始するところで停止しておきます。
3. 機能切替スイッチを「外部入力」の位置にする
4. 本機の外部入力端子に外部機器を接続する
5. [●]録音ボタンを押す
・[●]録音ボタンと一緒に[◀]再生ボタンも押されます。
6. 外部機器を再生状態にする
7. 録音中、一時停止するには[||]一時停止ボタンを押す
・もう一度押すと、録音が再開されます。
8. 録音が終了したら、[■ ▲]停止／取出しボタンを押す



お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしく乾拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)



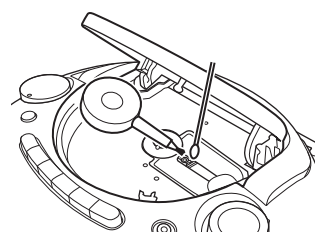
- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

レンズのクリーニング

レンズの汚れは音とびなど演奏ができなくなる原因になります。

CD ふたを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

- ホコリなどは、市販のクリーニングキットのブローを使って掃きだしてください。
- 指紋などがついているときは、市販のレンズクリーナーをお使いください。

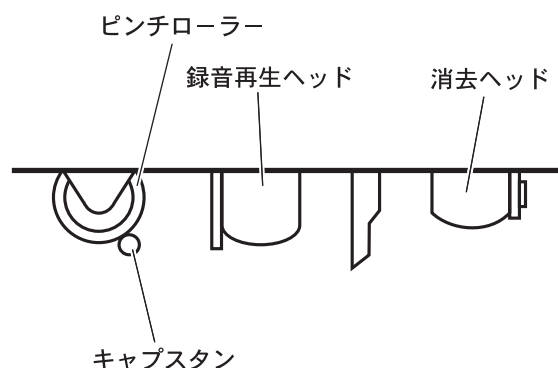


ヘッド部のクリーニング

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長時間使用すると磁粉やゴミ、ホコリなどが付いて汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪くなったり、音が小さくなる、前の音が消えないで残る、などの症状がでます。

カセットホルダーを開け、市販のクリーニングキットで清掃します。

- 綿棒にクリーナー液をしみこませ、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを拭き取ります。
- クリーナー液を使用した場合、十分乾いてからテープをセットしてください。乾く前にセットすると、録音内容が消えるなど、テープに悪影響を与えます。



録音再生ヘッドの消磁

長時間使用するとヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音再生ヘッドを消磁してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人には分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	・ 電源コードがはずれている	電源コードを本体のソケットに、電源プラグをコンセントにきちんと接続する
	・ 乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	・ 乾電池の向きがおかしい	乾電池を正しく入れなおす
音が出ない	・ 機能切替スイッチが目的の機能に設定されていない	機能切替スイッチを切り替える
	・ ヘッドホン端子に接続されている	スピーカーから音を出すときは、ヘッドホン端子は使用しない
雑音が入る	・ 近くで電波など発する機器（携帯電話など）を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
正常な動作をしない		一度電源を抜いて接続しなおす

CD 部

演奏が始まらない	・ CD ふたが閉じられていない	CD ふたを閉じる
	・ CD が裏返しにセットされている	ラベル面を上にしてセットする
	・ CD の汚れがひどい	クリーニングをする
	・ CD-R/RW がファイナライズされていない	ファイナライズを実行する*
	・ CD が著作権保護技術でエンコードされている	ディスクによっては再生できない
	・ 結露状態になっている	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
音がとぶ	・ 振動がある	振動のない場所に置く
	・ CD・レンズが汚れている	CD・レンズの汚れをとる
	・ CD に大きなキズがある	CD を修復する

ラジオ部

雑音が入る	・ テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・ 乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	・ 電波状態が悪い	窓ぎわなどで試してみる

※ ファイナライズの方法についてはご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください（本機ではファイナライズできません）。

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
外部入力部		
音が小さい	・ 接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量をあげる
音が出ない	・ 外部機器が正しく接続されていない	本体上部右側の外部入力端子に外部機器を接続する
	・ 外部機器が再生状態になっていない	外部機器を確認する
カセット部		
カセットが入らない	・ 逆向きに入れようとしている	テープが見えるほうを上にしてセットする
テープが機械に巻きつく	・ ピンチローラーやキャプスタンが汚れている	クリーニングをする
	・ テープがたるんでいる	たるみをなくしてからセットする
音がとぶ	・ ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
録音ができない	・ ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・ カセットテープが入っていない	カセットテープを入れる
	・ カセットテープの消去防止ツメが折れている	ツメの部分をテープでふさぐ
前の録音が完全に消えない	・ ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・ ノーマルテープ以外のテープを使用している	ノーマルテープを使用する
雑音が多い 音質がよくない	・ ヘッドが汚れている	ヘッドをクリーニングする
	・ ヘッドが磁化している	ヘッドを消磁する
	・ 乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する

長年ご使用のCDラジオカセットレコーダーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャサービスセンターに点検をご相談ください。

主な仕様

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz / DC9V 単2形乾電池 ×6 本
消費電力	11W (動作時。待機時 1W 未満)
外形寸法	(約) 幅 291 × 奥行 243 × 高さ 146mm
質 量	約 1.9kg (本体のみ)

対応 CD	CD/CD-R/CD-RW
S/N 比	45dB 以上
ダイナミックレンジ	± 45dB
受信周波数	FM: 76-108MHz AM: 530-1600kHz
スピーカー	77mm × 2
スピーカーインピーダンス	8Ω
出 力	1.5W + 1.5W

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)